



平成 30 年 2 月 19 日
午前・午後 / 時 8 分 受領

平成 30 年 2 月 19 日

南山城村議会議員 廣尾 正 男 様

南山城村議会議員 徳谷 契 次



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 子ども医療費の拡大について	現在、本村は中学生までの医療費は国、府の負担さらに村の負担としており、負担無しとしている。	村 長
	ところで、医療費助成で通院費の援助を「高校卒業まで」としている市町村は平成27年度には109自治体が増え、平成28年4月1日時点で378自治体に上がっていることが厚生省のまとめにより公表されており、全1741市町村の22%に当たっている。	
	①「少子化対策」を踏まえ、現在の「中学生まで」の医療費負担「ゼロ」から、「高校卒業まで」に直ちに整備すべき時期に来ていると考えるが、どうか。	
	②平成29年6月議会において、「共生ビジョン」の施策において伊賀市での中学生医療費を「窓口ゼロ」にすべきと指摘したが、現状はどの段階まで伸展しているのか。	
	以上の2点について、質問致します。	
2 高齢者福祉施設について	債務期間を平成29年～33年として、高齢者福祉施設等整備事業費として1億5000万円の用地費（公社取得）を計上されてから1年目を迎える。一方、過疎地域自立市町村計画では上記施設的设计費として平成31年度に500万円を予定している。	村 長
	この様な中、次の通り質問致します。	

	①施設建設予定地については未だ言明されていないが、なぜか。	
	②24時間365日のサービス提供についての課題整理は平成30年度中に終え、過疎計画で示した通り平成33年(2021年)の春には新たな施設でのサービス提供を住民は期待している。 平成30年度は特別な年度になると思われるが、これにかける意気込みはどうか。	
3 財政規律について	平成26年度歳入決算額8,818,500円、平成27歳入決算額8,162,400円、平成28年度歳入決算額5,853,150円。これらは入湯税における本村への歳入額である。 目的税であるが、これまで財源の充当先を定かに説明がされていないと思える。 ①平成30年度当初予算では、目的にかなった説明がつくのか。 ②税の趣旨に添い、現在の用途を改めるべきではないのか。 以上の2点について、質問致します。	村 長